



視察研修報告

◆総務常任委員会

【視察日】

平成29年10月5日～6日

【視察先】

○長野県上伊那郡南箕輪村役場
○山梨県中央市「山梨県立防災安全センター」

【視察目的】

○議会改革調査において、『村』の部で、4年連続第1位になっている南箕輪村の議会改革の取り組みについて

○防災安全センターでは、『地域防災』について

【参加議員】

下村 宏・山崎幸子・沼崎光芳・塚本光司・松村広志

【視察内容】

1日目、南箕輪村役場で議会改革の取り組みについて研修を行った。

本村と同様、住民投票により平成の大合併をせず自立を選挙、その際、議員定数も16名から10名に減らし議員歳費の削減を図った。現在は、先駆けて行った子育て施策等が

浸透し、人口が毎年増え、自治体規模も膨らんできたため、議員定数検討特別委員会を設置し、定数の増を視野に検討を始めたそう。

議会活性化については、各種団体との懇談会を複数開催、本会議のネット動画配信など見習うべきところを痛感した。



南箕輪村役場にて研修

翌日は、山梨県立防災センターにおいて、講師より経験に基づいた災害時の緊急対応や簡易トイレの作り方を体験した。東日本大震災で右往左往したことを思い出し、備えの重要性を改めて再認識させられた。

◆厚生文教常任委員会

【視察日】

平成29年10月19日～20日

【視察先】

○長野県諏訪郡富士見町役場
○神奈川県愛甲郡愛川町役場

【視察目的】

○地域未来塾『グローアップ講座』の取り組みについて
○愛川健康のまち宣言を軸に町民総ぐるみで健康づくりを進める取り組みについて

【参加議員】

林 昌子・飯田洋司・石川 修・小泉輝忠・竹部澄雄

【視察内容】

1日目は、富士見町を訪れた。

今、富士見町では地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり、保育園や学校を核とした地域コミュニティの形成をめざしている。その取り組みの一環として、学習ボランティアの支援を受け、富士見中学校でグローアップ講座を実施している。講座は全学年を対象に水曜の放課後に実施している『夕学』や、3年生を対象に10月から3月まで高

校入試に向けて実施している『朝学』などがあり、平成28年度は合計3337人の生徒が参加している。

2日目の愛川町では、町民総ぐるみで健康づくりを進める取り組みについてご教授いただいた。

愛川町は、地域や事業所、家庭で町民が一体となって自主的な健康づくりを進めるため、平成28年7月に愛川健康のまち宣言を行い、健康ポイント事業の開始や、愛川リフレッシュ体操、モデル地区健康づくり事業などにより健康づくりを支援している。



愛川町役場にて研修

両町とも地域と連携したすばらしい取り組みであった。

◆経済建設常任委員会

【視察日】

平成29年10月12日～13日

【視察先】

○山梨県下水道公社「釜無川浄化センター」

○山梨県南都留郡山中湖村役場

【視察目的】

○計画的な処理施設増設について

○山中湖の水上安全や静穏の保全について

【参加議員】 椎名利夫・岡沢清・小泉嘉忠・葉梨公一

【視察内容】

処理人口増加に伴う段階的な施設増設について、葦崎市等7市町の汚水を一括処理する釜無川浄化センターを視察した。終末処理場として、平成5年4月に供用を開始し、その後、流入量の増加により段階的に増設を行い現在8基で運用しており、汚水は標準活性汚泥法により処理されていた。

翌13日は山中湖村役場において山中湖の水上安全や静穏の保全について研修を行った。山中湖の利用については、富士五湖水上安全条例・同静

穏の保全に関する条例などにより遵守事項が定められている。条例の趣旨は、水上における交通の安全と事故の防止等を図るため、船舶の航法や酒酔い操縦の禁止、各種大会等の開催の許可を定めたものである。

各条例の運用に係る山中湖村の取り組みや、山梨県及び警察署との連携、役割分担、両条例による効果と運用上の問題点、各種トラブル等非常に難しい問題があることを理解できた。



山中湖村役場にて研修

霞ヶ浦においても、湖面は自由水面で誰が使ってもよいことから、何らかの対策を講じなければならぬが、非常に難しい問題である。

◆龍ヶ崎地方衛生組合

【視察日】

平成29年10月31日～11月2日

【視察先】

○熊本県熊本市議会事務局

○有明広域行政事務組合

○佐賀県武雄市図書館

【参加議員】 石川 修・小泉嘉忠

【視察内容】

災害発生時のし尿処理施設の対応や議会議員の役割や対応について、昨年、大規模災害が発生した熊本県熊本市や熊本県にある有明広域行政事務組合で当時の状況等について研修することにより、今後の組合及び構成市町村での災害対策の参考とする。



熊本市役所にて研修

また、有明広域行政事務組合は複合的一部事務組合であることから、複合的一部事務組合の組織運営について研修することにより、今後の組織運営の参考とする。

さらに、新しいスタイルの図書館として注目されている武雄市図書館の視察研修を行い、構成市町村の教育行政の参考とする。



有明広域行政事務組合にて

熊本市議会事務局としては、地震発生後通信状態が悪く、議員の安否確認に時間を要したが、連絡に通信アプリケーション（ライン）利用が大変便利で有効なツールであったそうです。



◆稲敷地方広域事務組合

【視察日】

平成29年11月8日～10日

【視察先】

○三重県津市消防本部

○和歌山県土砂災害啓発センター

○和歌山県那賀消防組合

【視察目的】

○稲敷地方広域市町村圏事務組合のより一層の進展と広域行財政の効率化に資するため、組合議会による視察研修を行う。

【参加議員】 林 昌子・飯田 洋司

【視察内容】

津市消防は、平成18年1月、10市町村の合併に伴い新しい津市消防として発足した。



津市消防本部にて研修

火災をはじめ複雑多様化する様々な災害から、市民と郷土を守るため、消防力の向上と充実に努めながら、幅広い活動を展開していた。

土砂災害啓発センターは、平成23年紀伊半島大水害により甚大な被害を受けた那智勝浦町に、和歌山県が土砂災害に関する研究及び啓発の拠点となる施設として設置された。1階でパネルや映像を使った土砂災害に関する啓発活動を行い、2階には、国の大規模土砂災害対策技術センター・大規模土砂災害対策研究機構があり、土砂災害の発生メカニズム等について研究を進めていた。

那賀消防組合は、消防本部庁舎内に災害対策の中核施設として、高機能消防指令センターや予防、救急研修、体験等災害に備えた諸機能を有した防災センターを平成5年6月に開館した。市民の防火・防災・救急等の研修施設として、多くの市民の皆さんに活用されており、市民参加の啓発事業が展開されていた。

◆美浦村議会議員会

【視察日】

平成29年11月15日～17日

【視察先】

○沖縄県中頭郡北中城村役場

○沖縄県嘉手納町「道の駅かでな」

○沖縄県国頭郡宜野座村「I-Tオペレーションパーク」

【視察目的】

○これからの議会活動の活性化及びさらなる村政の推進のため、先進地を視察、研修し知見を深め今後の議論の参考にする。

【参加議員】 参加13名【欠席1名】

【視察内容】

北中城村は、女性長寿日本一の村として全国に知られている。長寿の要因として北中城村の高齢者は、食事・運動・休養・環境・風土のバランスがよいと考えられている。そしてなにより人と人、地域とのつながり・支えあいの大切さと、いくつになっても社会活動への参加など積極的に活動することが大切ということである。

しかし、沖縄県は20歳から

65歳の死亡率が全国ワースト1位という大きな課題もある。男女ともに長寿日本一の村を目指し、健康で長寿を応援する取り組みを行っていた。



北中城村役場にて研修

宜野座村「I-Tオペレーションパーク」は、日本で最初の本格的公設IDC（インターネットデータセンター）を備えた施設であり、企業誘致、雇用の創出など大いに本村の参考になった。

「道の駅かでな」は、展望台から米軍嘉手納飛行場が一望できる観光スポットを活かした地域拠点の地であり、修学旅行生など観光客を溢れんばかり集客しており、大変な賑わいだった。